伝承空間エリア

高山市の中心部を流れる宮川の東部は江戸時代の面影を残す商家群や町家群、寺院群などの伝統的建造物が立ち並ぶ保存地区になっています。
飛騨の匠の技がちりばめられた高山祭に登場する「祭屋台」やその屋台を収納する「屋台蔵」などもこの地区にあります。
400年の歴史を有する歴史的町並景観や貴重な歴史・文化遺産を散策しながらご覧いただけるエリアです。

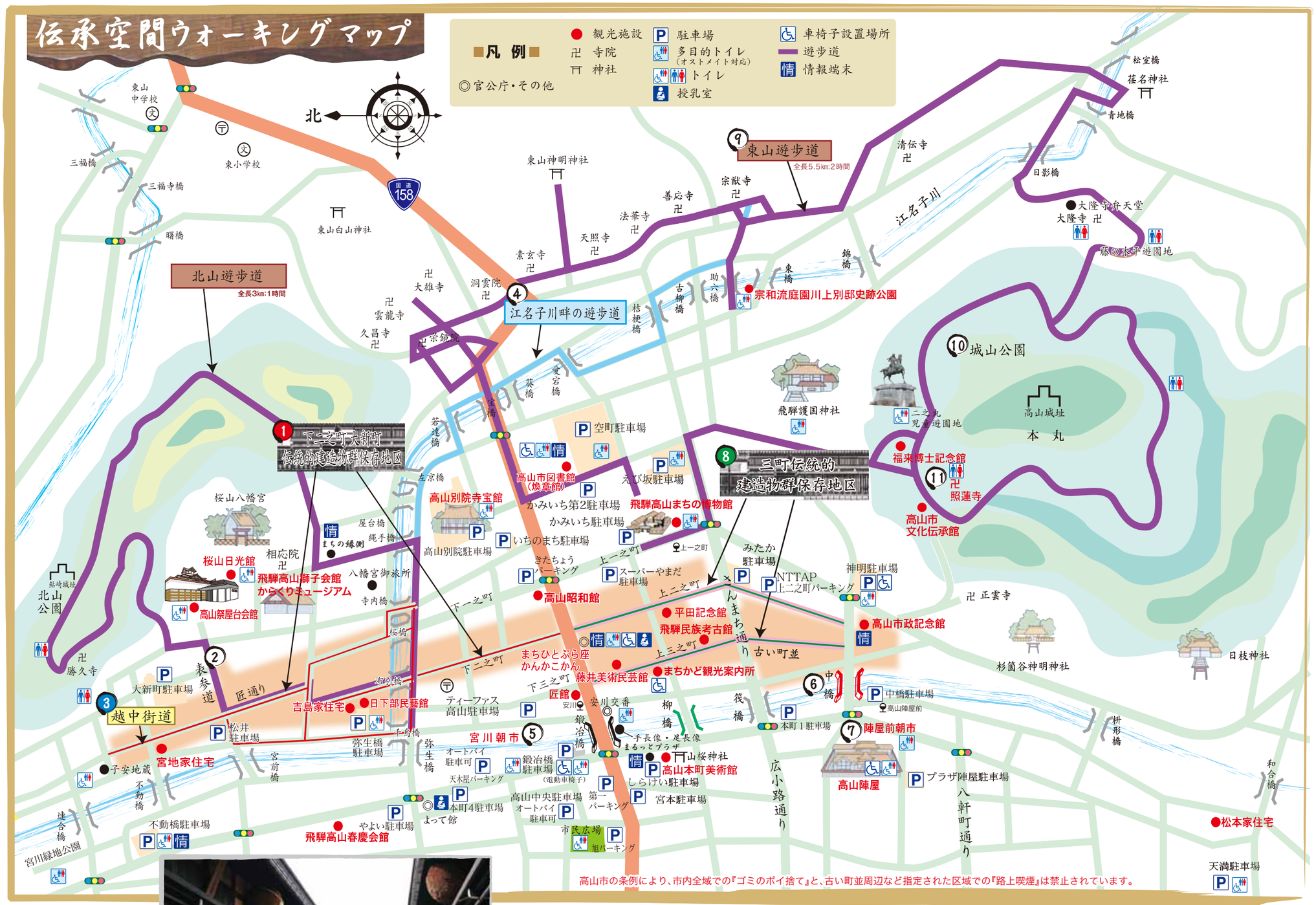
①古い町並（下二之町大新町伝統的建造物群保存地区）
市民生活関連の店舗が残る貴重な町並み。菓子、餅屋、骨董屋、農機具、畳、文房具、郵便局、料理屋など昔ながらの活気ある町並みです。
※この地域は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

②表参道
桜山八幡宮への参道。八幡宮の境内には、国重要文化財・高山祭屋台の実物が見られる高山祭屋台会館があります。

③越中街道
越中街道は高山城下町の東西南北4大街道の内、北側の街道です。越中方面から塩魚や薬などが入ってきた重要な街道でした。

④江名子川畔の遊歩道
城を囲む堀の役目をした江名子川。歌舞伎にちなんだ橋の名前や、横丁のあるなつかしい風景が残る川畔の町をまわる遊歩道です。

⑤宮川朝市（年中無休・4月～10月AM6:30～正午、11月～3月AM7:00～正午）
江戸時代から、米市、桑市、花市などの市として発展し、明治の中頃から野菜などが並べられるようになりました。かかさと呼ばれる農家の奥さん達の素朴な飛騨ことばを聞きながらの買物が楽しめます。
http://www.asaichi.net



⑥中橋
古い町並と高山陣屋を結ぶ「赤い中橋」。桜や雪とのコントラストは絶妙です。また、春、夏、秋、冬の年4回ライトアップが行われます。

⑦陣屋前朝市
（年中無休・4月～10月AM6:00～正午、11月～3月AM7:00～正午）
陣屋前朝市は、大正時代に昼市夜市として開かれたのが始まりです。現在も陣屋前広場に多くの店が並び、賑わいを見せています。
http://www.jinya-asaichi.jp

⑧古い町並（三町伝統的建造物群保存地区）
高山を治めた金森氏は、城を取り囲んで高台を武家屋敷、1段低いところを町人の町としました。この町人町の1部が現在の重要伝統的建造物群保存地区（伝建地区）です。出格子のつらなる軒下には用水が流れ、造り酒屋には杉の葉を玉にした「酒ばやし」が下がるなど、今も老舗が軒を並べています。

⑨東山遊歩道
高山の城下町は金森氏が400年前に造りあげました。東側の山裾には、金森氏ゆかりの禅宗寺院等が建てられ、東山寺院群が形成されました。自然を満喫しながら、寺々をまわる遊歩道です。

⑩城山公園
高山城主金森長近が築いた高山城は、「山城としては、日本国中に五つとない見事な城」とうたわれたものの、幕府直轄地となって元禄年間に取り壊されました。その後、城跡は町民が親しむ公園になりました。

⑪照蓮寺・福来博士記念館
合掌造りで有名な白川郷（現荘川町中野）から高山城二の丸跡に移されたもので、浄土真宗の寺院では、日本最古の建物といわれます。書院造りの本堂は永正年間（1500年頃）の建物です。すぐ近くには心霊学者福来博士記念館もあり、同時に観ることができます。